

防火対象物使用開始（変更）届出書

年 月 日

大阪市消防長 様

住 所
 〔法人にあつては、主たる事務所の所在地〕 ○○市○○区○○町○丁目○○番○○号
 届出者 氏 名
 〔法人にあつては、その名称及び代表者の氏名〕 ○○株式会社
 代表取締役 大阪 太郎
 電話番号 ○○（○○○○）—○○○○

大阪市火災予防条例第56条第1項の規定により、次のとおり届け出ます。

所在地	大阪市○○区○○町○丁目○○番○○号 電話番号 06（○○○○）—○○○○				
名称	○○ビル				
主要用途	事務所 物品販売店舗 飲食店	防火管理者 （責任者）氏名		大阪 一郎	
建築確認年月日	年 月 日	建築確認番号	第 号		
※消防同意年月日	年 月 日	※消防同意番号	第 号		
着工年月日	年 月 日	工事完了（予定） 年月日	年 月 日		
しゅん工検査 年月日・番号	第 年 月 日 第 号	使用開始（予定） 年月日	年 月 日		
他の法令による許認可	なし				
敷地面積	㎡	建築面積	㎡	延べ面積	㎡
従業員数	名		公開時間又は従業時間		
屋外消火栓設備、 動力消防ポンプ設備、 消防用水の概要	地下に消防用水（○○m ³ ）設置。				
その他必要な事項	危険物一般取扱所（ボイラー室） 危険物屋内タンク貯蔵所 31mを超える階（10～14階）				
※ 受 付 欄			※ 経 過 欄		

棟 概 要 (第 号)	用途	事務所 物品販売店舗 飲食店		構造	耐火造				
	種別 階別	床面積 (㎡)	用途	収容 人員 (名)	消防用設備等又は特殊消防用設備等の概要 〔屋外消火栓設備、動力消防ポンプ設備及び 消防用水以外の概要を記入してください。〕				火炎伝走防止 用消火装置等
					消火設備	警報設備	避難設備	消火活動上 必要な施設	
B 2階	〇〇	ボイラー室 機械室	〇	消火器 屋内消火栓設備 泡消火設備	自動火災報 知設備・非 常放送設備	誘導灯	連結散水 設備		
B 1階	〇〇	駐車場	〇	消火器 屋内消火栓設備 泡消火設備	同上	同上	同上		
1階	〇〇	店舗 事務所	〇〇	消火器 屋内消火線設備 スプリンクラー設備	同上	同上	連結送水管 (送水口)		
2階	〇〇	店舗 事務所	〇〇	同上	同上	同上			
3階	〇〇	事務所	〇〇	同上	同上	同上	連結送水管 (放水口)		
4階	〇〇	事務所	〇〇	同上	同上	同上	同上		
5階	〇〇	事務所	〇〇	同上	同上	同上	同上		
6階	〇〇	事務所	〇〇	同上	同上	同上	同上		
7階	〇〇	事務所	〇〇	同上	同上	同上	同上		
計									

- 注 1 階数が 10 以上又は棟数が 2 以上となる場合にあっては、防火対象物棟概要追加書類に必要な事項を記入して添付してください。
- 2 建築面積及び延べ面積の欄については、同一敷地内に 2 以上の棟がある場合には、それぞれの合計面積を記入してください。
- 3 その他必要な事項欄については、31m を超える階の状況等について記入してください。
- 4 火炎伝走防止用消火装置等の欄については、厨房に設ける排気ダクト等の火炎の伝走を防止する防火ダンパー又は火炎伝走防止用消火装置の有無を記入してください。
- 5 ※印の欄については、記入しないでください。
- 6 防火対象物の配置図、付近見取図、各階平面図、電気配線図及び消防用設備等又は特殊消防用設備等の配置図を添付してください。なお、設計図書を用いる場合は、施工者の住所、氏名、電話番号等を記入してください。
- 7 各階平面図には、避難通路、非常用の進入口、厨房に設ける排気ダクト等の火炎の伝走を防止する防火ダンパー又は火炎伝走防止用消火装置の位置等を明示してください。